

ト ル エ ン

別名：トルオール

$C_6H_5CH_3$

劇物（トルエン）

（性状）無色透明の液体で芳香がある。蒸気は空気より重く引火しやすい。引火点 4℃，爆発範囲 1.2～7.1%，沸点 110. 6℃，比重（ d^{20}_4 ）0. 866。水にほとんど溶けない。

措 置	漏 え い 時	<p>風下の人を避難させる。漏えいした場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。</p> <p>（少量）漏えいした液は、土砂等に吸着させて空容器に回収する。</p> <p>（多量）漏えいした液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、液の表面を泡で覆いできるだけ空容器に回収する。</p>
	出 火 時	<p>（周辺火災の場合）速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。</p> <p>（着火した場合）初期の火災には粉末、二酸化炭素、乾燥砂等を用いる。大規模火災の際には、泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。爆発のおそれがあるときは付近の住民を退避させる。消火作業の際には必ず保護具を着用する。</p> <p>（消火剤）粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡</p>
暴 露 ・ 接 触 時	人 体 へ の 影 響	<p>（吸入した場合）はじめ短時間の興奮期を経て、深い麻酔状態に陥ることがある。</p> <p>（皮膚に触れた場合）皮膚を刺激し、皮膚からも吸収され、吸入した場合と同様の中毒症状を起こすことがある。</p> <p>（眼に入った場合）粘膜を刺激して炎症を起こす。</p>
	救 急 方 法	<p>（吸入した場合）直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。</p> <p>（皮膚に付着した場合）直ちに汚染された衣服やくつを脱がせる。直ちに付着又は接触部を石けん水又は多量の水で洗い流す。</p> <p>（眼に入った場合）直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。</p>
注 意 事 項	注 意 事 項	<p>(1) 引火しやすく、また、その蒸気は空気と混合して爆発性混合ガスとなるので火気には絶対に近づけない。</p> <p>(2) 静電気に対する対策を十分に考慮する。</p> <p>(3) 常温で容器上部空間の蒸気濃度が爆発範囲に入っているので取扱いに注意する。</p>
	保 護 具	<p>保護眼鏡，保護手袋，保護長ぐつ，保護衣，有機ガス用防毒マスク</p>

ホルムアルデヒド水溶液

別名：ホルマリン

HCHOaq

劇物（ホルムアルデヒドを含有する製剤。1%を超えるもの）

（性状）無色の催涙性透明液体で刺激臭がある。ホルマリンはホルムアルデヒドを 36.5～37.5 W/W%含有し一般にメタノール等を 13%以下（大部分は 8～10%）添加してある。低温ではパラホルムアルデヒドとなって析出するので常温で保存する。

措 置	漏 え い 時	<p>風下の人を避難させる。必要があれば水で濡らした手ぬぐい等で口及び鼻を覆う。漏えいした場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。</p> <p>（少量）漏えいした液は多量の水を用い、十分に希釈して洗い流す。</p> <p>（多量）漏えいした液はその流れを土砂等で止め、安全な場所に導いて遠くからホース等で多量の水をかけ十分に希釈して洗い流す。</p> <p>この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないよう注意する。</p>
	出 火 時	<p>（周辺火災の場合）速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。</p> <p>（着火した場合）直ちに消火剤で消火する。水が一番有効である。</p> <p>（消火剤）水、粉末、泡、炭酸ガス</p>
暴 露 ・ 接 触 時	人 体 へ の 影 響	<p>（吸入した場合）蒸気は鼻、のど、気管支、肺などを激しく刺激し炎症を起こす。のど等を刺激するので多量吸入はまれである。</p> <p>（皮膚に触れた場合）皮膚炎を起こす。たびたび接触すると、人により炎症が激しくなることがある。</p> <p>（眼に入った場合）眼の粘膜を激しく刺激し催涙する。濃い液が入ると失明するおそれがある。</p>
	救 急 方 法	<p>（吸入した場合）直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し速やかに医師の手当てを受ける。呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。呼吸困難のときは酸素吸入を行う。</p> <p>（皮膚に付着した場合）直ちに付着又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴は速やかに脱がせる。速やかに医師の手当てを受ける。</p> <p>（眼に入った場合）直ちに多量の水で 15 分間以上洗い流し、速やかに医師の手当てを受ける。</p>
注 意 事 項	注 意 事 項	<p>ホルマリン自体は引火性ではないが、溶液が高温に熱せられると含有アルコール（メタノール等）がガス状となって揮散し、これに着火して燃焼する場合がある。</p>
	保 護 具	<p>保護手袋（ゴム）、保護長ぐつ（ゴム）、保護衣、保護眼鏡、有機ガス用防毒マスク</p>

メ タ ノ ー ル

別名：メチルアルコール

CH₃OH

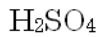
劇物（メタノール）

（性状）無色透明な液体で，特異な香気がある。蒸気は空気より重く引火しやすい。引火点 11℃。空気と混合して爆発性混合ガスを形成する。爆発範囲 6.7～36.5V/V%，沸点 64.65℃，比重（d²⁰₄）0.7914。水に任意の割合で混和する。

措 置	漏 え い 時	<p>風下の人を退避させる。漏えいした場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。</p> <p>（少量）漏えいした液は多量の水で十分に希釈して洗い流す。</p> <p>（多量）漏えいした液は土砂等でその流れを止め，安全な場所に導き，多量の水で十分に希釈して洗い流す。</p> <p>この場合，濃厚な排液が河川等に排出されないように注意する。</p>
	出 火 時	<p>（周辺火災の場合）速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は，容器及び周囲に散水して冷却する。容器が火災に包まれた場合は爆発のおそれがあるので，近寄らない。</p> <p>（着火した場合）多量の水，粉末，二酸化炭素等を用いて消火する。爆発のおそれがあるときは付近の住民を退避させる。消火作業の際には必ず保護具を着用する。</p> <p>（消火剤）水，粉末，二酸化炭素，泡（アルコール用）</p>
暴 露 ・ 接 触 時	人 体 へ の 影 響	<p>（吸入した場合）濃厚な蒸気を吸入すると酩酊，頭痛，眼のかすみ等の症状を呈し，さらに高濃度の時はこん睡を起こす。</p> <p>（皮膚に触れた場合）粘膜を刺激し，くり返し触れていると皮膚炎を起こす。皮膚からも吸収され，吸入した場合と同様の症状を起こすことがある。</p> <p>（眼に入った場合）粘膜を刺激する。</p>
	救 急 方 法	<p>（吸入した場合）直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ，新鮮な空気のある場所に移す。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。</p> <p>（皮膚に付着した場合）直ちに汚染された衣服やくつを脱がせる。直ちに付着又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。</p> <p>（眼に入った場合）直ちに多量の水で 15 分間以上洗い流す。</p>
注 意 事 項	注 意 事 項	<p>(1) 引火しやすく，また，その蒸気は空気と混合して爆発性混合ガスとなるので火気には絶対に近づけない。</p> <p>(2) 常温で容器上部空間の蒸気濃度が爆発範囲に入っているので取扱いに注意する。</p> <p>(3) 高濃度の蒸気に長期間暴露された場合失明することがある。</p>
	保 護 具	<p>保護眼鏡，保護手袋，保護長ぐつ，保護衣，有機ガス用防毒マスク</p>

硫 酸

別名：



劇物（硫酸及びこれを含有する製剤。10%を超えるもの）

（性状）無色無臭，油状の液体。濃硫酸は水と接触して激しく発熱する。

措 施	漏 え い 時	<p>漏えいした場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用する。</p> <p>（少量）漏えいした液は土砂等に吸着させて取り除くか，又はある程度水で徐々に希釈した後，消石灰，ソーダ灰等で中和し，多量の水を用いて洗い流す。</p> <p>（多量）漏えいした液は土砂等でその流れを止め，これに吸着させるか，又は安全な場所に導いて遠くから徐々に注水してある程度希釈した後，消石灰，ソーダ灰等で中和し多量の水を用いて洗い流す。</p> <p>この場合，濃厚な排液が河川等に排出されないよう注意する。</p>	
	出 火 時	<p>（周辺火災の場合）速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は，容器及び周囲に散水して冷却する。</p> <p>（着火した場合）－</p> <p>（消火剤）－</p>	
暴 露 ・ 接 触 時	人 体 に 対 す る 影 響	<p>（皮膚に触れた場合）激しいやけど（薬傷）を起こす。</p> <p>（眼に入った場合）粘膜を激しく刺激し，失明することがある。</p>	
	救 急 方 法	<p>（眼や皮膚に付着した場合）直ちに付着又は接触部を多量の水で15分間以上洗い流す。汚染された衣服やくつは速やかに脱がせる。速やかに医師の手当てを受ける</p>	
置	注 意 事 項	<p>（1）可燃物，有機物と接触させない。</p> <p>（2）水と急激に接触すると多量の熱を発生し，酸が飛散することがある。－</p> <p>（3）水で薄めて生じた希硫酸は，各種の金属を腐食して水素ガスを発生し，これが空気と混合して引火爆発することがある。</p> <p>（4）直接中和剤を散布すると発熱し，酸が飛散することがある</p>	
	保 護 具	<p>保護手袋（ゴム），保護長ぐつ（ゴム），保護衣（ゴム），保護眼鏡</p>	

硫酸第二銅

別名：硫酸銅（II）

$\text{CuSO}_4 \cdot 5\text{H}_2\text{O}$

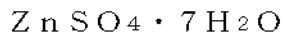
劇物：（無機銅塩類）

（性状）無水物のほか数種類の水和物が知られているが、五水和物が一般に流通している。五水和物の性状は次のとおりである。青色結晶で風解性がある。102℃で三水和物、113℃で一水和物、150℃で無水物になる。水に溶けやすい（20℃で水100mlに20.2g溶ける）。メタノールに可溶。

措 施	漏 え い 時	飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。飛散したものは空容器にできるだけ回収し、そのあとを消石灰、ソーダ灰等の水溶液を用いて処理し、多量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。				
	出 火 時	（周辺火災の場合）速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。 （着火した場合）－ （消火剤）－				
置	暴 露 ・ 接 触 時	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">人 体 に 対 す る 影 響</td> <td>（吸入した場合）鼻、のどの粘膜を刺激し、炎症を起こすことがある。 （皮膚に触れた場合）刺激作用があり、炎症を起こすことがある。 （眼に入った場合）粘膜を激しく刺激する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">救 急 方 法</td> <td>（吸入した場合）鼻をかみ、うがいをさせる。 （皮膚に触れた場合）直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせる。直ちに付着又は接触部を石せん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。 （眼に入った場合）直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。</td> </tr> </table>	人 体 に 対 す る 影 響	（吸入した場合）鼻、のどの粘膜を刺激し、炎症を起こすことがある。 （皮膚に触れた場合）刺激作用があり、炎症を起こすことがある。 （眼に入った場合）粘膜を激しく刺激する。	救 急 方 法	（吸入した場合）鼻をかみ、うがいをさせる。 （皮膚に触れた場合）直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせる。直ちに付着又は接触部を石せん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。 （眼に入った場合）直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。
	人 体 に 対 す る 影 響	（吸入した場合）鼻、のどの粘膜を刺激し、炎症を起こすことがある。 （皮膚に触れた場合）刺激作用があり、炎症を起こすことがある。 （眼に入った場合）粘膜を激しく刺激する。				
救 急 方 法	（吸入した場合）鼻をかみ、うがいをさせる。 （皮膚に触れた場合）直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせる。直ちに付着又は接触部を石せん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。 （眼に入った場合）直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。					
注 意 事 項	（強熱すると酸化銅（II）の煙霧及びガスを発生する。煙霧及びガスは有害なので注意する。					
保 護 具	保護眼鏡、保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、防じんマスク （火災時：空気呼吸器）					

硫酸亜鉛

別名：



劇物（無機亜鉛塩類）

（性状）無水物のほか数種類の水和物が知られているが、一般には七水和物が流通している。七水和物の性状は次のとおりである。白色結晶。転移点39℃。融点100℃。280℃で無水物になる。740℃で分解する。水に溶解しやすい（25℃で水100mlに63.4g溶ける）。グリセリンに可溶。

措 え い 時	漏 え い 時	<p>飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。</p> <p>飛散したものは空容器にできるだけ回収し、そのあとを消石灰、ソーダ灰等の水溶液を用いて処理し、多量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。</p>
	出 火 時	<p>（周辺火災の場合）速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。</p> <p>（着火した場合）－</p> <p>（消火剤）－</p>
暴 露 ・ 接 触 時	人 体 に 対 す る 影 響	<p>（吸入した場合）鼻、のど、気管、気管支等の粘膜が侵される。</p> <p>（皮膚に触れた場合）刺激作用があり、皮膚炎又は潰瘍を起こす。</p> <p>（眼に入った場合）粘膜が侵され、炎症を起こす。</p>
	救 急 方 法	<p>（吸入した場合）鼻をかませ、うがいをさせる。</p> <p>（皮膚に触れた場合）直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせ、付着部又は接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。</p> <p>（眼に入った場合）直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。</p>
置	注 意 事 項	<p>火災等で強熱されると酸化亜鉛の煙霧及びガスが発生する。煙霧は亜鉛熱を起こし、煙霧及びガスは有害なので注意する。</p>
	保 護 具	<p>保護眼鏡、保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、防じんマスク（火災時：空気呼吸器）</p>

二硫化炭素

別名：

CS₂

劇物：（二硫化炭素）

（性状）無色又は淡黄色の液体で特異臭がある。蒸気は空気より重い。二硫化炭素ガス比重2.64（空気を1とする）、引火点-30℃、爆発範囲1.3～44%、沸点46.2℃、比重1.26、水に溶けにくい（22℃で水100mlに0.22g溶ける）。アルコール、エーテル、ベンゼンその他の有機溶剤と任意の割合で混合する。ゴム、樹脂、イオウ、リン、ロウ、脂肪などをよく溶解させる。

措 施	漏 え い 時	<p>風下の人を退避させる。漏えいした場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。作業の際には必ず保護具を着用する。その際、特に保護具の材質に注意すること。風下で作業をしない。</p> <p>（少量） 漏えいした液は水で覆った後、土砂等に吸着させて空容器に回収し、水封後密栓する。そのあとを多量の水を用いて洗い流す。</p> <p>（多量） 漏えいした液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き水で覆った後、土砂等に吸着させて空容器に回収し、水封後密栓する。そのあとを多量の水を用いて洗い流す。</p> <p>この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。</p>
	出 火 時	<p>（周辺火災の場合）速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。</p> <p>（着火した場合）十分な水を用いて消火する。消火作業の際には必ず保護具を着用する。</p> <p>（消火剤） 水</p>
暴 露 ・ 接 触 時	人 体 影 響 に 対 す る	<p>（吸入した場合）興奮状態を経て麻痺状態に入り意識がもうろうとし、呼吸麻痺を起し、死亡することがある。回復期に猛烈な頭痛を伴う。</p> <p>（皮膚に触れた場合）皮膚を刺激し、皮膚からも吸収され、吸入した場合と同様の症状を起す。</p> <p>（眼に入った場合）粘膜を刺激して炎症を起す。</p>
	救 急 方 法	<p>（吸入した場合）直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。</p> <p>呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。</p> <p>（皮膚に触れた場合）直ちに汚染された衣服やくつを脱がせる。直ちに付着又は接触部を石けん水又は多量の水で十分に洗い流す。</p> <p>（眼に入った場合）直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。</p>
注 意 事 項	注 意 事 項	<p>(1)非常に蒸発しやすく、その蒸気は空気と混合して爆発性混合ガスとなるので火気は絶対に近づけない。</p> <p>(2)引火点-30℃、発火点100℃の極めて燃焼しやすい液体で電球の表面に触れるだけで発火することがある。</p> <p>(3)静電気に対する対策を十分考慮する</p>
	保 護 具	<p>保護眼鏡、保護手袋（合成ゴム）、保護長ぐつ（合成ゴム）、保護衣（保護前掛は合成ゴム）、有機ガス用防毒マスク（火災時：空気呼吸器）</p>

製品安全データシート

1 頁

MSDS No.

製品名	塩酸		
物質の特定			
化学名	塩酸		
含有量	35.0～37.0%		
化学式	HCl		
CAS No.	7647-01-0		
化審法 No.	1-215	安衛法 No.	_____
国連分類	クラス 8 (腐食性物質)	国連番号	1789
危険有害性の分類			
分類の名称	急性毒性物質, 腐食性物質		
危険性	塩酸は揮発性でも引火性でもないが, 各種の金属を腐食して水素ガスを発生し, これが空気と混合して引火爆発することがある。		
有害性	極めて腐食性が強く, 眼, 皮膚, 粘膜, 肺を刺激し, 眼に接触した場合失明することがある。蒸気の吸入により咳, たん, 流涙, 潰瘍, 胃腸障害などを起こすことがあり, 又多量に吸入すると気管支炎, 肺水腫になり死亡することがある。飲み込んだ場合には口腔, 食道, 胃腸などの粘膜を侵し穿孔を生じることがある。		
環境影響	_____		
応急措置			
皮膚に付いた場合	汚れた服・靴を脱ぎ, 皮膚を大量の水で石鹼を用いて洗う。直ちに医師の手当を受ける。		
眼に入った場合	直ちにコンタクトレンズをはずし, 少なくとも 15 分以上大量の水で眼を洗い, 1～3%の重曹水で洗眼する。きれいな指で瞼の裏をめくって洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。		
吸入した場合	新鮮な空気の所へ運び, 安静保温に努め直ちに医師の手当を受ける。呼吸が停止している場合には, 人工呼吸を行う。呼吸困難の時は酸素吸入を行う。		
飲み込んだ場合	口をすすいだ後, 吐かせないこと。直ちに医師の手当を受ける。		
火災時の措置			
消火方法	火元への燃焼源を断ち, 消火器を使用して消火する。延焼の恐れがないよう水スプレーで周囲を冷却する。消火作業は風上から行い, 必ず保護具を着用する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。		
消火剤	水, 粉末, 炭酸ガス, 泡		
漏出時の措置			
適切な保護具を付けて処理すること。土砂などに吸着させて取り除くか, 又はある程度水で徐々に希釈した後, 消石灰, ソーダ灰等で中和し, 多量の水を用いて洗い流す。発生するガスは霧状の水をかけ吸収させる。濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。			

取扱いおよび保管上の注意	
取扱い	局所排気装置を使用し、吸入したり、眼、皮膚、衣類等に接触しないように適当な保護具を着用すること。さらに長期や繰り返しの接触、暴露は避けること。火気から離れたところで取り扱うこと。
保管	直射日光を避け、換気の良い乾燥した冷暗所で保存する。
接触・吸入防止	
許容濃度	日本産業衛生学会 : (最大値) 5ppm, 7.5mg/m ³ OSHA (PEL) : ceiling=5ppm, 7mg/m ³ ACGIH (TLV) : ceiling=5ppm, 7.5mg/m ³
設備対策	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。
保護具	酸性ガス用防毒マスク、空気呼吸器、保護メガネ、保護手袋、保護長靴等
物理／化学的性質 1) 2) 3)	
外観等	無色澄明液体、刺激臭
密度 (20/20°C)	約 1.18
融点 (°C)	−114.2°C(塩化水素として)
沸点(°C)	−85°C(塩化水素として)
水溶性	混和
その他	アルコール、エーテルに可溶。強酸性
危険性情報 (安全性・反応性)	
引火点 (°C)	—————
発火点 (°C)	—————
爆発範囲	—————
安定性・反応性	湿った空气中で発煙する。腐食性が強く金属、コンクリート等を侵す。
その他	—————
有害性情報 4)	
急性毒性	経口 ウサギ LD ₅₀ 900mg/kg 吸入 ヒト LCLo 1300ppm/30M
刺激性	ウサギ 眼刺激 Mild 皮膚に接触するとやけど (薬傷) をおこすことがあり、又、眼に入ると粘膜が刺激され失明することがある。
変異原性	DNA 修復 大腸菌 25μg/well
催奇形性	吸入 ラット TCLo450mg/m ³ /1H (1D pre)
環境影響情報	
輸送上の注意	
運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。	
廃棄上の注意	
中和法；徐々に石灰乳などの攪拌溶液に加え中和させた後、多量の水で希釈して処理する。(毒物及び劇物取締法による) その他は取扱いおよび保管上の注意の項の記載による。	

適用法令

労働安全衛生法；特化則（第 3 類物質）

毒物及び劇物取締法；劇物

船舶安全法；腐食性物質（クラス 8）

薬事法；劇薬

- その他 引用文献：
- 1) 11892 の化学商品 化学工業日報社（1992）
 - 2) 化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会（1991）
 - 3) 毒物劇物取扱の手引き 厚生省薬務局安全課編 時事通信社（1991）
 - 4) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH（1985－1986）

上記の情報は十分に調査の上記載されたものですが全てを網羅しているものではありませんので、使用する上に於いて参考としてお使い下さい。

3 県内の事業所における毒物劇物の事故処理剤について

第5の1において毒物劇物による危害を防止するため事前に当該毒物劇物の取扱いに係る安全性情報の入手が重要であることを述べたが、こういった情報をもとに、漏えい事故等に備え、それぞれの毒物劇物に適した吸着剤、化学処理剤及び消火剤等の事故処理剤や、また保護衣、保護眼鏡及び防毒マスク等の保護具を準備しておくことが、実際の事故現場において危害を最小限に食い止めることにつながる。

ここでは、平成13年度に県が実施した「毒物劇物取扱い状況実態調査」の結果をもとに、各業務上取扱者が毒物劇物の各品目ごとにどのような事故処理剤を準備しているか参考までにまとめて掲載する。

取扱う毒物劇物	事故処理剤（吸着剤・化学処理剤・消火剤等）
アクリル酸	土砂、消石灰又はソーダ灰、炭酸ガス
アクロレイン	重亜硫酸ナトリウム
アンモニア水	水、蛋白系消火剤
塩化第二錫	土砂、パーミキュライト、吸着マット 水酸化ナトリウム
塩酸	土砂、水、消石灰、ソーダ灰、粉末消火剤
キシレン	吸着マット、粉末消火剤、蛋白系消火剤
酢酸エチル	泡消火剤、吸着マット
シアン化カリウム シアン化ナトリウム シアン化銀	次亜塩素酸ナトリウム
臭素	重亜硫酸ナトリウム
トルエン	吸着マット、粉末、蛋白系消火剤
二硫化炭素	水、ソーダ灰
弗化水素	土砂、石灰
ホルムアルデヒド	土砂、ソーダ灰、炭酸ガス、水
無水クロム酸	粉末消火剤、炭酸ガス消火剤
硫酸	土砂、水、消石灰、ソーダ灰、粉末消火剤
硫酸銅	土砂、粉末消火剤

なお、事故処理剤については、毒物劇物の保管場所ごとに設置し、使用方法等を表示した上で、危害防止に努めることが望まれる。

【参 考】保護具の備え付け

先に示した厚生労働省薬務局長通知「毒物及び劇物の運搬事故時における応急措置に関する基準（の制定）について」の品目ごとの情報の中には、事故処理に必要な保護具が記載されているので、事業所や運搬車両に備え付けておくこと。

